

## 楽な内視鏡検査（胃カメラ）を受けてみたいと思っている患者様へ

胃カメラを飲んで、涙と鼻水とともに「オエッ！」となり、もうこりこり…という経験をされた方が多いと思います。

今、胃カメラは鼻から通す時代です。一般的に行われている口からの検査では、舌の根元に胃カメラが当たり、咽頭反射が起きて吐き気を催すことが多くつらく感じます。ところが、鼻から入れる検査では、舌の根元に当たらないため、吐き気をほとんど感じることはありません。

## ■早期胃がんは手術せずに切除できます

当院では、最新の極細径内視鏡を導入し、日本消化器内視鏡学会指導医及び日本消化器内視鏡学会専門医による、苦痛の少ない上部消化管検査（胃カメラ）を受けていただくことができるようになりました。食道・胃・十二指腸を電子内視鏡で観察し、食道がん・胃がんなどを早期に発見することが可能です。

早期胃がんに対して、当院では手術をせずに胃カメラによる切除を行っています。わずか5.9mmの極細スコープを使用し、鼻からの胃内視鏡検査も可能です。胃カメラはつらいので遠慮したいという方は、ぜひ一度当院の胃カメラをお受けください。



フジノン東芝ES社製  
高画質内視鏡システムEPX - 4400



内視鏡写真



細径スコープ (EG - 530M)  
直径わずか5.9mmです

### ◆患者様の声を紹介◆

- ◆「何回か胃カメラを飲みましたが、今回はウソのように苦みがなく、楽な検査でした。」
- ◆「楽な胃カメラでした、ありがとうございました。」



### 胃カメラと内視鏡って違うの？

「胃カメラ」は現在の「内視鏡」の代名詞として用いられていることが多いようですが、全く異なるものです。

胃カメラとは、1950年に開発されたもので、挿入管の先端に取り付けた小型カメラで、胃の内部を撮影し、後に現像した写真を見て診断する古典的な

ものです。

内視鏡とは、光を伝送するガラスファイバーの両端についた対物レンズと接眼レンズを通して、胃の内部をリアルタイムで観察・記録できるもので、大型モニターにも高精細な画像を表現することができるため、小さな病変部でも発見することが可能です。

## ■糖尿病教室のお知らせ

毎月第2・3・4木曜に糖尿病教室を行っています。興味のある方はぜひご参加ください（申し込み・費用は不要です）。

日時・場所 午後2時～3時・東館2階  
内容

- 第2木曜：糖尿病について（医師）  
運動療法について（糖尿病療養指導士）  
検査について（臨床検査技師）
- 第3木曜：食事療法について（栄養士）

- 第4木曜：糖尿病の合併症（医師）  
日常生活の注意点（糖尿病療養指導士）  
糖尿病の薬について（薬剤師）

## ■病院にお越しの際は保険証をお忘れなく ～毎月確認が必要です～

健康保険証は、毎月1度の確認を行っております。必ず、月の初めに窓口にご提出ください。

### 訂正とお詫び

広報うだ8月号16ページ掲載の「市立病院診察日程表」の、小児科木曜日の辰巳医師は鈴木医師の誤りでした。訂正しお詫びいたします。